

# 「沈黙せず反対の声を」

## 安非法制

## 駅前で抗議継続訴え



施行された安非法制に反対する市民 29日、JR福井駅前

29日に施行された安全保障関連法は戦争法だと批判する市民12人が同日夕、JR福井駅前で抗議の声を上げた。「戦争させない」「アベ政治を許さない」と印刷されたプラカードを持って通行人に訴えた。

福井市の酒井照子さん(69)は「このまま黙っていると、気がついたら、えっ、なんでこんなことに、となってしまうのではないかと案じる。自衛隊による海外での武力行使を可能とする法律で、日本が掲げてきた「専守防衛」の大転換でもある。「沈黙することとは、暴力をふるっていることと同じ」と訴えた。

学習塾経営の山崎由樹さん(32)、玲夏さん(35)夫妻は鯖江市から駆けつけた。2人も「黙っていることはこの法律に賛成することと同じなので来ました」と話

した。玲夏さんは「近所でも職場でも私の周りには『法律に賛成』という人がいない。一部の政治家の考えだけで事態が進んでいるのではないかと。由樹さんは「戦争をしないと決めた人は安全なところにおいて、戦争に行くのは若い人。私がこの法律に反対するのは、自分が戦争に行きたくないからです」と語った。

福井市の越路竜次さん(49)は「武力は憎しみしか生みません。戦争のない世界が欲しいので、この法律の廃止に向けてがんばりたい」と語った。(下地毅)